

会 議 録

会議の名称	第 1 回 杵築市行政改革推進委員会
開催日時	平成 2 7 年 1 0 月 2 日（金曜日） 午後 2 時 0 0 分から午後 3 時 3 0 分
開催場所	杵築市役所本庁舎 2 階 大会議室
議 題	別紙資料のとおり
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
委員の委嘱を行った後に議事について協議、説明を行う。 議事 （１）正副委員長の選任 （２）アクションプランの進捗状況 （３）補助金等評価 （４）その他	
審 議 内 容	
（総務課長 司会進行） （委員委嘱） （市長あいさつ） （市長退席） （委員名簿順に自己紹介） （資料の確認） ○総務課係長：杵築市行政改革推進委員会について説明します。次	

第の 2 ページをご覧ください。行政改革推進委員会設置要綱を載せています。要綱を読み上げ、説明します。

（要綱読み上げ）

附則の 3 つ目、今年の 9 月に要綱を改正しています。改正したところは、第 1 条と第 2 条です。これまでの要綱はアクションプランの進捗を主にするというを具体的に謳っていましたが、改正して行政改革に関することを調査審議するという広く捉える内容に改正しています。また、委員の任期ですが、委員の任期は 3 年とするこれまでの要綱では定めていましたが、任期の 3 年目となりますと、年度の丁度真ん中あたりで委員交代になりますので、翌々年度の末日までとするという改正をしました。推進委員会につきましては、以上です。

○総務課長：ただいま、事務局の方から委員会の内容について説明を申し上げましたがご意見やご質問等があれば。

（質疑・意見等なし）

○総務課長：では続いて説明をします。6 番目の行政改革大綱について事務局から説明します。

○総務課係長：現在の行政改革大綱は、第 2 次となるもので、第 1 次大綱は、平成18年 6 月に策定をした「新たな行政改革大綱」というものです。これは、杵築市の合併後のまちづくりの指針として策定した「杵築市総合計画」の将来像「歴史と文化の薫り高き豊かな感性があふれるまち」を実現するために策定したもので、その実施計画である「集中改革プラン」に従って行政改革に取り組んできました。この集中改革プランの取組で、4 年間で20億1600万円の収支改善を行いました。主な内容は、人事管理の見直しで、職員の定員適正化計画に基づいた職員削減により 412 人から 347 人に、65人削減しています。また、市長10%、副市長、教育長、一般職員は 5 % の給与カットを行う等、人件費を約10億3600万円削減しています。

次に普通建設事業に対する一般財源の削減と地方債の繰上償還による公債費の抑制で約5億4千万円の改善を行いました。さらに、物件費を約1億6000万円削減、民間委託等の推進による効率化に伴いまして1億4500万円削減しています。主要基金残高では、集中改革プランの目標額は約27億1600万円でしたが、43億6300万円と大幅に上回っています。現在の、この第2次行政改革大綱は、今説明しました「第1次行政改革大綱」の理念を継承し、さらに市民ニーズに対応したサービスを提供できるような行政へと改革を進めていくための指針として、平成22年3月に策定したものです。この「第2次行政改革大綱」の実施計画となるのがアクションプランですが前期のアクションプランでは地方交付税が「合併算定替」から「一本算定」となり、9億5000万円削減されることを見据え、「単年度支出を平成21年に対し3億円削減する」ということを目標に掲げ、人件費の削減などに取り組みました。人件費削減などの経営努力を行いながら、一方では減額が予想されていた地方交付税は、リーマンショック以降の緊急経済対策などを反映した形で少しずつ増加したため、結果として、主要基金の残高において予想を上回る確保ができました。後期アクションプランにおいても急激に変化する社会、経済情勢に柔軟に対応できる体制を整備し、行政改革に取り組んでいます。この第2次行政改革大綱と後期アクションプランは、平成28年度までの計画ということになっていますので、この進捗管理を委員の皆さまに審議していただきたいと思います。

○総務課長：ただいま第2次行政改革大綱、合わせて第1次行政改革の成果について報告しました。この点について何かご質問、ご意見等があれば。

○委員：ちょっと教えてもらいたい。この資料の最後の17ページ、体制の概念図。この行政改革推進委員会の上に、行政改革審議会というのがあるがこの審議会と委員会はどういう関係があるのか。

○総務課係長：行政改革審議会はこの大綱を作る時など、大きな計画を作る時は、外部のみなさんにこういう大綱を作る時の審議をしていただきます。市長の諮問機関。市長が諮問して、その中でこういう大綱を作って、それに対して色々な意見を言ってもらい、その結果を市長に答申します。

○委員：じゃあ今も動いているということではないのか。

○総務課係長：今は動いてはいないです。

○委員：私は二本立てで動いているのかと思った。

○総務課係長：違います。また、29年度以降の新しい大綱を作ることになればその審議会を設置して大綱についての検討を行っていくことになるかと思います。

○委員：わかった。

○総務課長：その他意見等は。

○委員：先ほど言っていた内容に少し数値的なものがあつたが文章化したものはあるか。

○総務課係長：文章化したものはありません。アクションプランを開いてください。アクションプランの3ページ以降に現在の杵築市の財政状況が載っています。そして、その次の5ページ。こちらには合併した平成17年度から平成26年度までの普通会計の決算状況が載っています。先ほどの説明も、ここら辺の数字の収支のところや、下の財政指標等の数値を拾っています。6ページを見てください。これには前期プランの目標が3億円削減するということと、その後の、先ほどの説明が少し文章になったものが載っています。

○委員：具体的には人数などは。

○総務課係長：それは19ページに載っています。

○委員：職員数の削減や地方交付税や特例債など、そういったものをまとめたものを。全部読まないといけないから。

○総務課係長：わかりました。

○委員：今までの努力の成果はこういうものがあつたと。それはそれで置いておいて今後どうしていくかというのを考える時に頭においておきたい。

○総務課係長：わかりました。

○委員：今説明したその手持ち資料をそのままコピーしてほしい。

○総務課係長：はい。

○総務課長：今話した部分の原稿ですか。

○委員：そう。第1次の行政改革でやったこととか前期でやったことで全部書いていた。それをもしコピーしてもらえらるなら、これまでの動きがみなさんわかりやすい。これが一番いい。

○総務課係長：わかりました。コピーしてきましょう。

○委員：そのコピーをもらうのが簡単でいいでしょう。

○委員：まあ、そうですね。

○委員：まとめられているので。

○総務課長：そうですね。私の方もこういった1次の成果をまとめたものがないかなということで色々探したが、あまりなかった。

○委員：その説明資料が一番わかりやすい。

○総務課長：他にもあれば資料を準備しますのでよろしく願います。それでは、行革大綱についてはよろしいですか。それでは、7番目の議事に入りたいと思います。行政改革推進委員会の設置要綱では、委員長が議長となると規定しております。委員長がまだ決まっていますので引き続き私が進行します。（1）番で、正副委員長の選任についてを議題としたいと思います。正副委員長につきましては、要綱の第4条第1項の規定によりまして委員さんの互選ということになっています。初めての会議ですので名簿を参考にご推薦いただければと思いますが、いかがでしょうか。

（推薦なし）

○総務課長：みなさん初めてのお顔合わせということでご推薦がな

ければ、事務局に腹案がありますがご提案してもよろしいでしょうか。それでは、委員長に関谷委員さん、それから副委員長を貞閑委員さんをお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

（異議なし）

○総務課長：それでは、委員長に関谷委員さん、副委員長に貞閑委員さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。それでは、ご挨拶を委員長からお願いしたいと思います。

○委員長：先ほど市長の方からご挨拶があったが、地方における財政改革というのは非常に重要な時期を迎えていると思う。杵築市においても、市長のご挨拶によると、このままいくと経常収支比率は100 %越えてしまう状況を迎えているということだ。我々に与えられた任務は行財政改革大綱に沿ったアクションプランもそうだが、補助金の見直し等について真剣に討議して、杵築市の行財政改革が円滑に推進するようにがんばっていくことだと思っている。皆様方のご協力をよろしくお願いします。

○総務課長：ありがとうございます。それでは、貞閑副委員長。

○副委員長：まだ全然分からない中だが委員長を補佐していきたい。よろしくお願いします。

○総務課長：ありがとうございます。それではよろしくお願いいたします。それでは関谷委員長、委員長席の方へ。

（席の移動）

○総務課長：それでは今後の議事の進行につきましては、委員長お願いいたします。

○委員長：よろしくお願いします。今ご挨拶で申し上げたが、私は去年もこの委員会で委員長を務めた。今回見事に委員さん全員変わってしまった。総務課長は入っていたか。

○総務課長：入ってないです。

○委員長：あれは指定管理だったか。入ってなかったか。システム

は基本的には前回のものを踏襲したところもあるが、資料を見ると、事業資料等、我々が要求したものがちゃんと用意されている。前は、これは1冊だったが、これいわゆるエビデンスですよ。そのまま出してくれと言ったものが全部載っている。やっぱり我々が意見を持ち上げたことは、杵築市行革は着実にやっている。この時期は予算編成がからんでいるので我々が持ち上げたものが予算編成に伝わっていくので我々の意見が非常に重要だと考えている。初めての方がいてというような話があったがそうじゃなくて市民目線で見ていくということは非常に大事。慣れてどうのこうのというのは逆に悪い。こういうのは、市民目線や、貞閑先生のような専門家の目線が大事。行政に慣れた人だと逆に見落としがある。前回も公募の方にたくさん意見をいただいた。随分それが反映している。市民目線が非常に大事なので、自信を持って色々ご発言をよろしく願いたい。それでは、最初に第2次行政改革大綱の推進の基となるアクションプラン。こちらの進捗状況について事務局の方から説明をお願いしたい。

○総務課員：それでは、私の方から説明します。今回は第1回目ということで、資料の見方を説明します。アクションプランは、行政改革について、25年度から28年度までの4年間の具体的な取組項目をあげたものです。この委員会では、アクションプランの計画的な推進を図るため、進捗状況の確認と項目等の見直しを行います。進捗状況や、計画変更等により変更の生じた項目について審議していただいた後、28年度版として公表していく段取りにしたいと考えています。黄色の冊子をお開きください。黄色い紙を挟んで、上側が平成28年度版のアクションプランの案です。下側が、アクションプランの取組項目ごとの個別表となっています。個別表にアクションプランの詳しい内容が書いてあります。一つ、例にあげて説明いたします。まず、アクションプランの13ページをお開き

ください。13ページのNo.1に「本庁支所方式への移行」とありますが、これは庁舎問題の検討が中止になったため今年度より項目から削除したいと思います。

ですので、「No.2の組織・機構の見直し」を例にとらせていただきます。アクションプランの14ページをお願いします。上段が計画で、下段が進捗状況です。詳しくは個別表の2ページをご覧ください。ページの左側に、「現状と課題」欄がありますが、これは、このアクションプランを作った時点で作成したもので、現状と記載内容が一致しなくなった場合には、朱書きで訂正をしています。

その下に年度ごとのプラン、そしてその実施状況を、右側にある「アクションプランの進捗管理」の欄に載せています。右側の進捗管理の欄は、平成26年度の分を今回記入いたしております。これを受けて、平成27年度、平成28年度のスケジュール、年度目標などが変更となっている分は朱書きで訂正しておりますのでその分について審議していただきたいと思っております。

○委員長：我々の仕事は、これは28年度版ですがこれまでのことも関係していて、これまで見てきた内容で進捗状況が遅いじゃないか、計画が長すぎるじゃないか、実施に早く移した方がいいじゃないかと色々ご意見申し上げたものが内容に反映してきている。今度新しい委員で26年度の内容の実績が出てきているのでこれを踏まえて、27年度に向かって、28年度に向かって、この事業の目的がちゃんと達成できるのかや原課の方が予定通り実施と書いているが予定どおりじゃないじゃないかなど個別に1個ずつ見てもらう、こういう作業になると思う。そういうことでよいか。

○総務課員：はい。

○委員長：そういうことでやってきた。前も言ったがボリュームが多い。ここの委員会に来ている時間は短いが、自宅で時間を取り、一遍には見られないので、毎日少しずつ見ていかないといけない。

見ている時に、市民目線で、一般感覚で見ておかしいと思う所はやっぱりおかしい。そういうご意見をたくさん頂いた方がいい。そういうことでよいか。

○総務課長：はい。よろしくお願いします。

○委員長：アクションプランの進捗状況についてはそれくらいでよいか。

○総務課員：はい。

○委員長：ここで一旦ご質問、分からない点があればどうぞ。初めてだから全てわからないかもしれないが。今言ったようにアクションプラン自体は大きなところ、13, 14ページから項目が入っている。評価については13ページの最初のところにブルーがついているのが予定通り実施、これが項目18あり、黄色が2、これが目的未達成、1が未実施で、中止が1。ほとんどが予定通り進んでいるというが、それがほんとに予定通りかどうかというのを個別表を見て、市民感覚で見ていただきどうかというところを探ってもらいたいというのが一番大きなところ。

○総務課長：よろしいですか。我々総務課が今度担当しているが、様式等もこれまでの様式を使っています。様式等も、もしこういうところがあった方がいい等そういう意見もあれば次回からそういう所も訂正していきたいと思うのでよろしくお願いします。

○委員長：補助金も前回の委員会ではカラーコピーは不要、グレースケールでいいという意見もあった。今回はまた新たな委員の立場でお願いしたい。かなり色々申し上げてその辺は改善をかなりしていただいた。でも委員さんも総入れ替えなので新たな目線で、新たな観点でどんどん発言をしていただいた方がよい。こちらの行財政改革の進捗に資するという気持ちで遠慮なく、こんなこと言ったらおかしいんじゃないかと思わないで自分自身がおかしいと思ったらどんどん発言をしてほしい。それが大事なこと。どうぞよろしくお

願います。

○委員：私まだ理解できてないのだがアクションプランというのは黄色から下が個別表で、個別の計画のところが計画通りになっているかなっていないかというのをまとめたものが14ページからでいいか。

○委員長：そうだ。一覧表みたいな感じ。個表から全体表ということだ。

○委員：これ今からチェックするわけか。

○委員長：そうだ。

○委員：それがまだよくわからない。

○委員長：個表を見て、そのやった内容は、一部実施や予定通り実施等を書いているので、その内容を見ていただきこれが満足いくものかどうか。問題があればそこで議論していく。進捗度が遅ければ、もっと進捗度を上げるという話をしていく。

○委員：これはここで作業を担当した職員が実際に作業した内容をまとめたのがこれだ。それをこういう表の中に書いてあってで、それでもってこれは遅れている遅れてない、進んでいる進んでいないというのは読み取れるのか。

○委員長：読み取れるところと、読み取れないところについては追加説明をしてもらう。

○委員：担当している人間じゃないとわからないじゃないかと思ったから。

○総務課長：実際、我々も担当となってこれを見て、全ての事業内容がわかるかと言ったら確かにわかりにくいと思います。見ていただくのはスケジュールを来年度はこういう風にしたいというところの中で実際予定通りできているのかというところを書いていますので、その予定と実施状況があっているのか、あっていなければなぜなのかというところを見ていただきたいと思います。

○委員長：補助金評価になればもっと細かいものがついてくる。これはスケジュールの進捗状況が一番大事なところ。

○委員：決してネガティブになっているつもりはないが、どこを見たらいいのかどこがポイントなのかというのがわからない。進捗のところを主に見たらいいのか。

○委員長：そもそも原課の方はこういう計画を立てて執行している。それに対しての原課の方が評価。それを見て大体原課が考えていること、実際書いてある内容が進んでいるかどうか、遅いのであればもっと早くしろと意見を出せるということ。

○委員：内容についてもやはりチェックしていくわけか。

○委員長：細かい内容についてはさっき言ったようにこれでは難しい。補助金の方は細かいエビデンスがついてくる。

○委員：もう少し見てみる。

○委員：こういう行革のアクションプラン、行政改革をする時には杵築市がイメージする市政創造、協働、行政経営、杵築市が描く将来像に沿っていくと思う。杵築市の本来あるべき姿、例えば杵築市がどういう風になりたいかというところ、単に経常収支比率が何%になるとかあるいは地方債、あるいは財政調整基金そういう数値的な部分と市政創造と協働と行政経営というをバッティングさせた上でのこうしたいというのを方針として掲げているものがあると思うが、それを明らかにしていただいて、そこにもっていくための一つの処方箋というのを、数値的なものをある程度リンクして作りあげていかないと何もある意味ではできあがらない。ましてやこういうアクションプランの行動計画だけの早い遅いかという議論だけをしていると、ややもすればその到達点を見誤るおそれがあるので、まずそういうことをリンクさせて、今年度はこれをモチーフにしてここはこういう風にして、というようなことを。全体の流れがわかるようにしておかないとなかなか難しいという風に思う。

○委員長：そのところは7ページ8ページ。行政改革アクションプランの体系、市政創造、基本理念こういう体系図の中でレベルダウンしていく。先生が言ったように重点改革項目取組項目というものもこの辺で体系全体が出ているというところだ。ただし、それぞれの項目に置いて数値が出てくるところもあれば出てこないところもある。それが先生の言ったように今回我々の仕事は今進んでいる後期プランの25年度から28年度の評価に我々入っている。市長の話にあったように次の29年度以降のものについて行政改革に反映させることは必要だと思う。大きな数値経過、本来あるべき姿、そういうところは我々が意見申し上げて次の行政改革大綱に生かすことが大事だ。今は実際進んでいるから。それはもちろん大事なことだがこの流れの中で一つ見ていくということもある。先生が言ったように基本的なところは確かにそうだ。

○総務課長：一応、一番基本となるのは杵築市の総合計画です。資料として総合計画と毎年、実施計画というのがあります。そちらについても、資料を次回までには準備したいと思います。

○委員：できれば次回までにじゃなく事前に送付してほしい。見る時間が欲しいので。

○総務課長：会議が終わりましてすぐ準備して郵送します。

○委員長：結局枝葉だけ見てもしょうがない。大きな目標に向かってどう進んでいるか。それを数字でチェックできればしたい。そういうことですね。よろしく。

○委員：この資料ですが、これだけあるが、優先順位とか、どこまでを今回議題にしようとかそういうのはないのか。

○委員長：これからのやり方だ。過去は、あまりにも多いので、行政改革アクションプランだけをやって、次の会議では補助金をやると分けたこともある。ボリューム的に対応できないから。アクションプランよりも補助金の方が予算に直結するから補助金の方を先に

審議してアクションプランを後にやったということも以前はしている。進捗状況に応じてその辺は日程を調整している。それでよいか。

○総務課員：はい。

○委員：わかった。

○委員：私も同じように考えていた。この58項目の中で重要度の高いものとそうでないものがあるのではないか。そうでなければ一番大事なものが遅れていてもわからないのではないか。そういう分類はしていないのか。重み係数。

○委員長：そういうのはない。全体を見てもらう。

○委員：そうしないと一見進んでいるようで実際は・・・

○委員長：それも含めてどれが大事かというのは市が決めることではなく、我々委員の方がこの項目の方が大事だからこっちを重点的にやれと申し上げた方がいいのではないか。項目は出ているわけなので。

○委員：それならそれでいい。

○委員長：補助金に関して私は重点項目と言うのはあると思っている。

○委員：進みやすいのだけどんどん進んでいくというのは。

○委員長：それもある。全体としてはこれを見たときに進捗状況がほとんどAになっていたので、我々の目線は進んでないもの、遅れているものを重点的に見ていく。

○委員：そうですね。

○委員長：ただ、Bがついているのは2点しかない。Cは1点。そういう状況にある。去年まで実はこれは秘書政策課がしていて、それが総務課の方へ来た。そういう意味ではお手数だが一回見てもらって58項目あるものを一回勉強させてもらうということによいか。

○総務課長：はい。もっと早く資料を差し上げて十分事前に見る時

間があればよかったのですが申し訳ないです。

○委員長：ではとりあえずアクションプランについては、また何か気になった点があれば後ほど質問していただいて全然構わないので、事務局の説明の方だけ先に。

○総務課長：はい。

○委員長：それでは補助金評価の関係。補助金評価について事務局の説明をお願いいたします。

○総務課員：はい。赤いファイル、平成27年度杵築市行政改革推進委員会補助金等評価資料をお開きください。初めの A3 の用紙は総括表や一覧表です。一覧表中の、赤でページ番号を塗ったものは交付金の印です。特に優先していただきたいものの意味ではありません。そのあとに続く、A4 の用紙が個別の評価シートです。一覧表はこの個別の評価シートの内容をまとめたものなので、詳細については個別の評価シートをご覧ください。

個別の評価シートは大体4ページで一つの事業になっています。1ページ目の整理シートに補助金の概要を載せています。2ページ目は、予算決算や、各担当者が補助金の評価項目ごとに評価したグラフです。下の部分に評点を入れて、それが五角形のグラフに反映されています。3ページ目は27年度の予算の内容、所属長の意見、総務課長の意見を載せています。このページの外部評価委員意見の欄にこの委員会での意見を入れます。4ページ目は26年度の補助金の内訳を書いてあります。この部分はもう1冊の赤いファイル、事業資料となっているファイルにも入っているので、そちらも合わせてご覧ください。これで内容を確認し、総合的な評価をお願いして、3ページ目の委員意見の欄の評価をお願いしたいと思っています。評価項目は「廃止」から「継続」までを6項目に分けて、最終的な委員会のコメントを入れるようにしたいと思います。次回の委員会から実際の審議に入っていただこうと思います。

○委員長：ここのポイントは所属長、原課の課長がまず、自分のところの意見を書いている。原課だから当然継続が多い。それに対して総務課長が客観的に意見を述べておるのが紫のところ。我々は所属長と総務課長の意見が違っているところ、これがさっきおっしゃっていた重点項目、意見がちがうということはなぜだと。以前これは財政課長だった。一昨年までかな。でも査定課長だからそれはおかしいので行革担当課長に変えた。我々としては評価をしていくが、補助金がちゃんと目的通り執行されて効果が出ているかどうか。評価項目があるが、細かいエビデンスをとるようにしているのでそれを見て、補助金が適正に使われているかどうか、効果がちゃんと合っているかどうか。公益性、効率性、公平・公正性、優先性、必要性、こういう項目で評価されているが我々もそれを見ながら補助金についての我々としての意見を言う。意見については、廃止、内容見直し、縮小、統合、拡大、継続、こういう内容になっている。事務局の説明はそれくらいでよいか。

○総務課員：はい。

○委員長：今回はこれ全部見ていくか。

○総務課員：A3の資料の最後のページに、所属長と総務課長の意見が違うものの一覧表を載せているので、こちらを中心に見ていただき、あと、委員さん方から、意見は同じでもこの補助金はもっと深くみた方がいいんじゃないかという項目がありましたらどんどん見ていっていただきたいと思います。

○委員長：補助金は国や県の要綱に基づいているのはあまり見てもしようがない。むしろこの交付金。交付金を前回まで内容をよく見ていったので。それで今回はエビデンスがたくさんついている。例えば13ページ赤のマークがついた花火大会交付金。花火大会に交付金の効果があるか、それからいろんなお祭りの補助金があったりするので、皆様方の新しい観点で。今回は何から先に行くというのは

ないか。

○総務課係長：補助金の方から先に。次回からは補助金の評価からお願いします。

○委員長：補助金と交付金と一緒に順番に見ていくか。

○総務課係長：はい。委員長の言われた通り、所属長と総務課長が違っているところ、昨年度の委員さんの評価に継続の印が付いてないもの、その辺を中心に見ていきたいと思います。

○委員長：これ全部見ると相当な時間が、、、

○総務課係長：そうです。全部で133ありますので、所属長と総務課長の意見が違うもの。それと、それと二次評価で継続に○が付いていないものが約30ありますので、その辺を中心に評価をお願いしたいと思っています。ただ、お持ち帰りいただき、読んでいるうちに興味があるもの、詳しく聞いてみたいというものがあれば、おっしゃっていただければ詳しく説明をしたいと思います。

○委員長：一次評価で所属長と総務課長の意見が違うものが30くらいあるのか。

○総務課員：はい。31件あります。

○委員長：31件。それと、前回の委員会で継続がついてないもの。

○総務課員：所属長と総務課長の意見が相違の分にだいたいぶん含まれていますが、それ以外で3件あります。

○委員長：やり方としては、意見が違うところだけやってもしょうがないので、全部見ていく。最初から。で、一緒であればすんなりといくとは思いますが、委員の方々によっては興味のあるところでご発言いただく、という風に一応全部見ていこう。全部見ていって、やっ
ていこうと思う。結構時間がかかるので前もって見てきていただき、興味があるところ、問題があると思う所は、付箋か何かでチェックしてもらった方がいいかもしれない。これ結構時間がかかる。事前に見るのが大変。だからポイントとしてはさっき言ったように

原課の課長と総務課、市役所全体を考えて総務課長の意見が違うのは重点的に見ていかないといけない。だけど、市民目線で原課の課長と総務課長の意見が一致してもおかしいところは、我々がそこは指摘しないといけない。ということになる。重点的には違う所、でも一致していてもおかしい所は見ていかないといけない。特に交付金、前回もそうだが補助金じゃないので、使途が不明瞭な部分がありあった。市の方にはエビデンスをかなり要求したので、交付金についてはちょっと注意してみてもらう必要があると思う。ちゃんとしたエビデンスでもってどういう使途で使っているのかわかりにくいものがありあったので、それでこれができた。

○委員：これは何度もやるのか。

○委員長：そうだ、進捗状況によって、予算に間に合わなければ何回もやる。

○委員：そういうことであればこの5ページ。歳出総額の186億円の5%に満たない話をしているので歳出総額と歳入総額の内訳を具体的に示してもらい、もっと本来やるべきことも考えた方がいいのではないか。

○委員長：それはどうか。

○総務課長：内訳と言いますと、決算書みたいなものでいいですか。それは準備できます。

○委員長：それは事前に、今いただけるのか。

○総務課長：決算書とそのまとめたようなものがあればいいですか。一応議会で報告した分がありますので。決算書だけは今日用意できます。帰りの荷物が重たくなりますが。

○委員長：少しは印刷した分があるでしょう。

○総務課長：はい、あります。議会の報告のためにまとめたものは、印刷しますので、その分については郵送します。

○委員長：他にご意見は。どうぞ。

○委員：難しい話じゃないが、事務局に聞きたい。この資料の見方がわからない。ここに A3 で 1 枚の平成26年度の総括表がある。その次からは平成26年度の補助金交付一覧表がある。その次に平成27年度補助金評価一覧表（平成26年度決算）があるがこれは26年度のものを、今度27年度の評価として出す。ということか。

○総務課係長：そうです。

○委員：そうすると、先ほど委員長の方からここは重点的に、まあ全部見ると言っていたが、所属長と総務課長の意見が違うものが13ページにまとめてある。これは A3 に織り込んでいるところに番号が書いてあるがこれは何か。総括表があって、26年度の補助金の一覧表があって、評価表がある。この流れが、、

○委員長：総括表は各課別の合計になっている。一番上の総括表は各課別の合計で、件数と、補助金交付金額の合計。各課別の内訳がその次のページから載っている。課別補助金・交付金の種類別に分かれている。特にそういうものがここに上がってきている。

○委員：その次のページからは補助金の評価になっている。

○委員長：これは今度評価が入っている。

○委員：ここにそれぞれナンバーが入っている。この番号は先ほどの交付一覧の中に入っていない。

○総務課係長：番号は入ってないですね。

○総務課長：これはページですね。ページが入っています。

○委員：総括表は課別になっていて、その評価がこれ、、

○委員長：説明と評価がいっぺんに書けないものだから。

○委員：なるほど。今後チェックしていくとしたらこれとこれを見るのか。

○委員長：中身をチェックするなら個別シートの方がいい。

○委員：チェックはどの項目の意見が違うのかというのはこれを見るわけか。

○委員長：わかりやすいのは所属長と総務課長の意見が入ったところ。でもこれだけじゃ補助金の中身が分からないので、個別表を見る。

○委員：それはわかる。評価一覧表とあるが。

○総務課長：例えばまず、違うものでナンバー５の交通安全協会杵築支部補助金というのがあると思います。13ページの部分です。私の意見と所属長の意見が違う交通安全協会、これが先ほどの評価一覧表、その５番目が危機管理課で交通安全協会杵築支部と言う風になっています。それがA4で先ほど個別整理シートの18ページに載っています。そういう風にみていただきたいということで番号と整理シートのページ数を書いています。

○委員：そうすると最初の課別のやつは、要は課別だから課別に整理しただけか。

○総務課長：そうです。

○委員：課別の意味合いというのは何かあるのか。

○総務課長：特にないです。

○委員：仕分けの仕方。26年度のやつを27年度で評価する。

○総務課長：そうです。

○委員長：これを全部見ると杵築市補助金は分かる。でも大変。こちらの個別シートに載っているだけのエビデンスで足りないものをこちらでとっている。交付金関係のエビデンスが少し薄かったので、その辺の実態を出してもらった。この決算資料は我々が見ておくものですね。そしてこれがさっきの説明のコピー。

○総務課員：はい。

○委員長：ボリュームからいくと、次はアクションプランに入る時間は当然ないだろう。まず、補助金評価が急ぐでしょう。

○総務課係長：はい。12月くらいに当初予算の査定がはじまりますので。

○委員長：それに間に合わせないといけない。前回は補助金から先にやって、アクションプランはそんなに急がないので、急がないことはないが、予算日程に合わせるために先に補助金からやっていった。今のところ事務局は、、あつ質問はないか。よろしいか。何か気が付いたらおっしゃってくださいね。では、今後の委員会の進め方。質問にもあったように事務局は今後の日程をどういう風に考えられているか。

○総務課係長：委員長から話があったとおり補助金の方の評価を先にしたいと思います。で、今月もう一度第2回目の委員会を開き、その中で補助金の方の評価を集中的にする。そして第3回目までには評価を、コメントをいれたいと考えています。先ほど言ったように、所属長の意見と総務課長の意見が違うものを中心に一応全てのコメントを入れてもらいますので一通りは説明しますが、そういったものを中心に説明をしていきたいと思っています。第3回目を11月中に開催して、その時には委員さんの委員会の評価をいただきたいと考えています。これはもう、先ほどから委員長のおっしゃっている通り、当初予算の方に反映させるためです。

○委員長：今のところ補助金に2回予定しているのか。

○総務課係長：そうです。補助金で2回、その後、4回目、5回目くらいでアクションプランの方をしたいと考えています。

○委員長：一生懸命やってみて、足りなければ増やさないとしょうがないが。まあやってみないとわからない。今事務局から今後の日程の話がでたが、大体そういうことで、取り組んでみて2回で済めばいいが、確か前回は2回じゃ済まなかったんじゃないかな。ボリュームが多くて。交付金関係で意見が出やすいところがある。色々意見をいただいた。ただ、副委員長が言ったように我々は、補助金交付金とアクションプランをやるが大元の方がね、割合からしたらこれは少ない。大元のところが問題じゃないかという意見もあつ

た。その辺もどれだけ見られるか、意見が出るか。我々の意見は市長の方に伝わるようになっているからその中にいれてもいい。最後に報告書に書くから。補助金とアクションプラン以外で、市の歳出項目で大きな問題があるというのは我々の意見としていれることができる。何かご質問、ご意見はあるか。後日質問があれば、個別に事務局の方に連絡をしてもいいと思う。それでは次の会議の日程を皆さん揃っているので決められれば決めよう。

○総務課長：はい。お願いします。

○委員長：10月の。

○総務課係長：26日の週で、、、10月26日はいかがでしょうか。月曜日です。

○委員長：10月26日月曜日。19日の週はやらないの。

○総務課係長：19日の週はみなさん都合がよろしければ。

○委員長：19日の週はね、空いているのは20日の火曜日の午後。22日木曜日の午後。みなさんどうか。もう少し時間が欲しいということであれば26日の週でもいい。20日の火曜日の午後はみなさんどうか。副委員長はどうか。

○副委員長：都合が悪い。

○委員長：じゃあ22日の午後はどうか。

○副委員長：いい。

○委員長：皆さん22日の午後はどうか。

○委員：22日はダメだ。

○委員長：じゃあ26日の週で、27日は先生どうか。

○副委員長：空いています。

○委員長：27日は皆さんどうか。

○委員：どうしても来られない場合はどうしたらいいのか。

○委員長：代理はきかないですね。

○総務課係長：代理はききません。

○委員長：開催は過半数いれば開けるのか。

○総務課長：はい。

○委員長：27日は厳しいか。

○委員：27日は大丈夫だ。

○委員長：27日は大丈夫ですね。一応みなさんのいい日を選んでおかないと。その時突発的な事があって、どうしても来られない場合は、委員会が開催できなければ別だが、それだったら事務局の方に自分の思う疑問点等を伝えておいて、意見が伝わるようにしてもらって。せっかくの機会だからね。それでは7日の午後にしましょうか。何時にしましょう。今日は2時だが、大体会議は1時間半から2時間が限界ですよ。となると1時半か、、1時半にしますか。よいか。それでは27日の13時30分に第2回目の補助金評価でやりましょう。

○総務課係長：はい。

○委員長：できれば補助金全体を見てきてもらって。交付金が最後になるのかな。

○総務課係長：同時にいければ同時に。

○委員長：順番通りということだね。

○総務課係長：はい。

○委員長：交付金を別扱いせずと一緒に見ていくということでよいか。

○総務課係長：はい。いかがですか。

○委員長：じゃあ番号順でいい。全部で133本か。とりあえず目標としては、できれば70本程度は見たいなというところ。やってみましょう。2時間を目途にしましょう。あまり長いと集中力が切れるので。1時間半くらいが一番いいが。内容だけ確認してきてもらったら全体がつかめるから。来年はもうほとんど役に立ちませんからね。チェックだけしかないので。言いたいことは今回伝えとかない

といけない。委員の皆さんご意見ありませんか。よいか。今日いきなり集まってこういうものをぽっと見て難しいので、先ほど色々ご意見いただいたが、わからないことは事務局に、総務課の方に連絡されて、確認をしたらいいと思う。それでは、みなさんご意見ないようであればその他を事務局の方からどうぞ。

○総務課長：関谷委員長、スムーズな進行ありがとうございました。それではその他ですが、事務局からはありませんが、原則我々の会議は公開ということで一般の方も傍聴できるようになっています。今回募集しましたがいませんでした。今後もこういった公開という方法でやらせていただきたいと思いますのでご理解のほどをよろしくお願いしたいと思います。それから先ほど言いました決算の方は、議会のために簡単にまとめたものがありますので、後ほど郵送で送ります。また委員の皆様方からこういう資料が欲しいということがあれば遠慮なく総務課の方に申し出ていただきたいと思います。それでは、長時間にわたり、貴重なご意見をありがとうございました。これからご意見をいただきながら杵築市がずっと続くように行財政改革をきちんと進めてまいりたいと思いますのでこれからもよろしくお願いします。以上で第1回目の行革推進委員会を終わらせていただきます。ご協力本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。あと、説明をするのに例えば財政課の職員を呼ぶとか、担当課の職員を呼ぶとかご要望があれば、職員を呼びますのでよろしくお願いします。